



1時間後にはごみのないきれいな砂浜が蘇りました。

きれいな海を子どもたちに みんなの川と海づくりデー

8月24日、三角町の若宮海岸で「くまもと・みんなの川と海づくりデー」（主催/熊本県、熊本県教育委員会、宇城市、熊本県海と渚環境美化推進委員会ほか）の清掃活動が行われました。

これは、熊本の川と海を守るために県内の川や海岸で一斉に清掃活動を行う「くまもと・みんなの川と海づくりデー」のメイン会場としての取り組みで、城南町など県下17市町でも同様の活動が行われました。

若宮海岸では「きれいな川や海を子どもたちに残そう」という趣旨に賛同した市内の企業クラブ・清掃業者や市民などのボランティア約800人が早朝7時から清掃活動を開始。砂浜に打ち上げられた流木や漂着ゴミなどが山のように積まれていきました。



おいしいバームクーヘンができました



楽しく仲間づくり わくわくコミセンお泊り会

8月11日～12日、「わくわくコミセンお泊り会」が、豊野町コミュニティーセンターで開催されました。豊野小学校と豊野中学校の児童・生徒33人が参加。

これは、子どもたちの豊かな感性を集団生活を通して育て、仲間の大切さや優しさを感じ合うことで、「思い合い」の気持ちを持ち、「人に優しく」行動できる子どもの育成と「仲間づくり」を目的とするものです。

1日目は、グループごとに分かれて人権学習を行った後、バームクーヘンづくりに挑戦。夜はみんなで作ったカレーを食べた後、キャンドルの集いや花火をして楽しみました。2日目は、誉ヶ丘公園に移動して、まちおこしグループ「夢・豊野塾!」の指導によりカヌー体験をしました。2日間という短い間でしたが、子どもたちにとって夏休みのいい思い出になったようです。

小川中学校が最優秀賞を受賞 学校給食献立調理発表会

8月22日、熊本県学校給食会（富合町）で、平成20年度学校給食献立調理発表会があり、小川中学校の学校給食が最優秀賞を受賞しました。

これは、郷土料理、県内の農畜水産物、地場産物などを取り入れて、栄養所要量も考えながら1日分の給食費での献立作成、調理するというものです。

当日は、厳しい書類審査を通過した15献立が郡市代表として参加。調理したメニューをもとに審査がありました。

○当日の献立・五穀米・あじのはさみフライ・夏野菜の白玉すまし・小川っこサラダ・巨峰ゼリー・牛乳

栄養職員の原木先生と調理員の外村先生は「学校給食で出来るメニュー、子どもたちに食べてほしい食材、地場産物を取り入れたものであることを考え、献立を作成しました。これからも一層おいしい給食作りに頑張っていきます」と語っていました。



とてもおいしそうですね

もし地震が起きたなら 女性消防隊が啓発劇



女性分団豊野女性部の迫真の演技

8月22日、豊野公民館で宇城市消防団女性分団豊野女性部（押方つや子部長、部員14人）が、豊野長寿大学の受講生約100人の前で啓発劇「もし、地震が起きたなら」を初披露しました。

この劇は災害の備えを地域住民に啓発しようと、豊野女性部員が企画・立案から演技まで全て「手作り」。今年2月に準備を始め、4月からは月に2回、夜に練習。その後、月3回に練習を増やして、この日の初舞台に備えました。

登場人物は、就寝時の備え（懐中電灯・ラジオ・靴・水）や災害時の避難方法（頭部を座布団や本で守る）を確認しあう母子と、災害に無頓着な父。この家庭が地震に遭うことで起こる悲喜劇をユーモアたっぷりに演じる部員に対し、観客席から拍手が送られていました。

国際人を目指して バンクーバーサマーキャンプに参加

7月26日から8月8日、市内に住む8人の子どもたちが、カナダのバンクーバー・ウイスラーのサマーキャンプに参加しました（グッドタイム主催）。世界31カ国から約160人の子どもたちの参加があり、キャンプ活動ではクイズ大会、ディスコナイト、ルームメイトとのダンスや歌の出し物などがありました。また、熊の親子を2度も目撃、大自然と共存していることを実感しました。

世界のさまざまな国から集まり生活を共にし、英語を使ってお互い協力し合い、強い友情が生まれたこのキャンプは、子どもたちにとって、一生忘れない素晴らしい体験になったようです。参加した子供たちは「来年も絶対参加したい」と目を輝かせていました。

◎今回参加したお友だち

澤村拓海くん（河江小）、澤村瑞貴くん（河江小）、岩本祐佳さん（豊川小）、遠山千恵実さん（当尾小）、上村真央さん（宇土高、松橋中卒）、石田愛奈さん（学園大付属高、松橋中卒）、濱下雄尚くん（網津小）、澤村恵津子さん（キャンプリーダー）



バンクーバー水族館前でホームステイ先の子どもたちと

次代を担う若人の提言 宇城管内市町職員意見発表会

・文化課 村中智恵
「学芸員の仕事って？」



・契約検査課 藤川達也
「地域の活動に参加して思うこと」



・健康づくり推進課 原田由香
「知識から知恵へ」



宇城広域連合主催による第9回宇城管内市町職員意見発表会が8月21日にアスパル富合（富合町）で開催されました。

これは、「次代を担う自治体職員として、どう行動すべきか提言を求め、職員としての自覚と士気の高揚を促すことで、地域に対し自主的、積極的に貢献できる職員を養成し、ひいては宇城管内市町職員全体の資質の向上を図ること」を目的に毎年開催されています。

宇城管内2市3町の採用後おおむね5年未満の職員8人（そのうち、宇城市からは3人）が、各市町の首長・幹部職員や一般聴衆の前で提言を行いました。